

第1号議案 令和2年度活動報告及び決算報告

I. 2年度事業方針と活動評価

令和2年度事業方針

新型コロナウイルスが引き起こした、もはや世界中の国々が精神的にも、経済的にも相当なダメージを被っています。こうした危機的状況の中、中経協会員間のネットワークを活かし、金融機関との連携をし、刻々と変化する情報に対応して、見えないウイルスとの苦しい戦いに頑張って勝利しましょう。

2年度活動評価

1. 活動全般

令和2年度4月に新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発出され、年度初頭より経済活動にも多くの制限を受けざるを得ない状態になり、それは現在も継続しています。

異業種交流を主な活動とする当協会ではありますが、感染防止を最優先としすべての行事を縮小または中止としました。

このような状況の中、各地域中経協ではWEBを活用した定例会やセミナーなど工夫した活動を行っておりました。

本部も旧態依然の活動にとらわれず、WEBツールやICTの活用を進め、コロナ後を見据えてさらに会員の皆様に発展できるよう努力してまいります。

2. 創立30周年記念事業及び式典の挙行

設立30周年の記念事業として「我々中小企業の基盤である地域に貢献」「地域の宝である子供たちが安心・安全に生活できる環境作り」のために、「交通安全標識（飛び出し注意人形）」を寄贈することとし、8月~9月に各地域中経協で分担し、県下19市町に計250体の交通安全標識を寄贈いたしました。

寄贈についてはテレビや新聞など多くのメディアに取り上げていただき、当協会の活動の周知にもつながりました。

30周年記念式典は感染拡大予防のため中止といたしました。





県中・小企業連合会
協会（篠野利浩代表理事）はこのほど、子どもが飛び出し事故へ注意を呼びかける交通安全標識「飛び出し人形」250体を製作。そのうち15体が9月2日、長門市に寄贈された。

「飛び出し人形」（通称「飛び出し君」）は目を引く子どものイラストを道路の危険箇所を設置して交通安全を呼びかけるモニューメン

「飛び出し人形」は、道沿いに設置して、子どもが飛び出し事故へ注意を呼びかける交通安全標識。青や赤などカラフルな色づかいで描き、約130センチの支柱（鉄製）に設置している。人形（平面）は耐久性のあるPP板（ポリプロピレン）で作られており、表裏で男の子と女の子のイラストに分かれるリバーシブルタイプ。支柱の土台は重たいブロックが固定でき

一瞬としてしかたえられない。事はないかーを協議。子どもたちが安心安全に生活できる環境づくりのため交通安全標識を製造し、県内すべての教育委員会に贈ることを決めた。

この日は同協会の副会長理事で県北中経協の藤田貴史会長（フジミツ副会長）と副理事で県北中経協の岡田智加子副会長（ホテル桐貴副社長）の2人が



3. 会員増強

本部事業、地域での活動が十分に行えず、またコロナの影響もあり多くの会員が退会されました。

地域中経協	元年度末 会員数	2 年度		2 年度末 会員数	増減
		入会	退会		
下関中経協	80	0	4	76	-4
県南中経協	89	2	7	84	-5
県央中経協	104	3	10	97	-7
周南中経協	65	2	3	64	-1
県北中経協	29	0	1	28	-1
合 計	367	7	26	349	-18

4. 県東部地域（岩柳地区）中経協の設立についての活動はできませんでした。引き続き設立にむけ努力します。

5. 情報共有・会員相互の交流により会員企業のビジネスに貢献

新型コロナウイルスの影響で交流事業は行えませんでした。

情報共有に関しては、理事会を通じての各地域間の情報共有を図りましたが十分ではありませんでした。県や公共機関など多方面から情報をいただき、HP に随時掲載いたしました。HP の周知が足りず、各会員には十分周知できませんでした。今後はメールなどでの周知も検討いたします。

II. 決算報告

III. 監査報告

一般社団法人 山口県中小企業経営者協会

令和2年度決算報告

令和2年4月～令和3年3月

(単位:円)

科目	2年度予算	2年度実績	予/実差異	備考
I. 収入の部				
1. 会 費 収 入	3,303,000	3,303,000	0	9,000円×367社
2. 本部主管総会費収入	0	0	0	
3. 本部主管事業収入	0	0	0	
4. 本部補助費	0	0	0	
5. 地域主管総会収入	0	0	0	
6. 地域主管事業収入	0	0	0	
7. 雑収入	20	14	-6	利息
8. 広告事業収入	530,000	540,000	10,000	
当期収入合計(A)	3,833,020	3,843,014	9,994	
9. 年度繰越金	1,647,058	1,647,058	0	
収入合計(B)	5,480,078	5,490,072	9,994	

II. 支出の部				
1. 管理費	3,506,180	3,388,906	-117,274	
1) 本部運営費用	0	0	0	申請/更新手続き、新規税務相談
2) 事務局維持・管理費	673,080	1,813,080	1,140,000	家賃40,970円、複合機15,120円、事務局委託費95,000円
3) 人件費	1,140,000	0	-1,140,000	
4) 福利厚生費	0	0		
5) 会議費	180,000	74,914	-105,086	理事会、事務局会議、その他交流会議費
6) 旅費交通費	130,000	79,300	-50,700	事務局通勤費、会議交通費
7) 通信運搬費	120,000	148,034	28,034	電話、FAX、郵送代
8) 印刷製本費	529,100	529,100	0	会員手帳更新
9) 事務・消耗品費用	40,000	51,368	11,368	複合機カートリッジ料、消耗品代
10) 雑費	694,000	693,110	-890	振込手数料、弔慰金他
2. 新支部開設費	100,000	0	-100,000	
1) 支部開設費	100,000	0	-100,000	東部拠点開設開発投資
3. 事業推進費	1,399,880	1,143,334	-256,546	
1) 本部主管総会費用	180,000	0	-180,000	
2) 本部主管事業費用	1,100,000	1,023,454	-76,546	30周年記念事業 交通標識購入
3) 地域主管支部総会費用	0	0	0	
4) 地域主管事業費用	50,000	50,000	0	県南カウントダウン協賛
5) 広報事業費	69,880	69,880	0	HP保守、サーバー・ドメイン管理料
6) 交流福祉事業費	0	0	0	
7) 寄付・義捐金	0	0	0	
4. 租税公課	71,000	71,000		
1) 租税公課	71,000	71,000	0	県民税、市民税
5. 予備費	0	0	0	
1) 予備費	0	0	0	
当期支出合計 (C)	5,077,060	4,603,240	-473,820	
次年度繰越金	403,018	886,832	483,814	
支出合計(D)	5,480,078	5,490,072	9,994	

貸借対照表

科目	金額（単位・円）
I 資産の部	
1.流動資産	
現金	0
銀行預金	886,832
流動資産合計	886,832
2.固定資産	
固定資産合計	0
資産合計	886,832
II 負債の部	
1.流動負債	
流動負債合計	0
III 正味財産の部	
1.正味財産	
次期繰越剰余金	886,832
負債・正味財産合計	886,832

損益計算書

科目	金額（単位・円）
I 正味財産増減の部	
(1)経常収益	
会費収入	3,303,000
本部主管事業収入	0
雑収入	14
広告事業収入	540,000
経常収益合計	3,843,014
(2) 経常費用	
管理費	3,388,906
新支部開設費	0
事業推進費	1,143,334
予備費	0
経常経費合計	4,532,240
当期経常収支	-689,226
2.経常外増減の部	
(1)経常外収益	0
(2)経常外費用	0
税引前当期純利益	-689,226
法人税、住民税及び事業税	71,000
II 正味財産期末残高	-760,226